



小動物内科学コース

General Practitioner Certificate Programme in Small Animal Medicine

欧州で
最も人気の
コースが
新登場!

Introduction

内科は獣医学において間違いなく最も広域な分野であり、故に新しい情報を習得し続け、最新の知識を維持することが非常に難しいです。このコースは、必ず内科の主要領域の知識を効果的にアップデートできるよう構築されています。

小動物内科 (SAM) GPCert プログラムは以下の方法でご自身の日々の臨床を変えます。

患者に対し、より複雑な疾患へ熟知した的確な治療と早期の診断を行うための技術、知識を習得することで外部機関への症例紹介の必要性が減り、ご自身の臨床能力と収入、そしてキャリアが向上します。

コース内容・日程

1-臨床病理と臨床検査 I

症例に対し適切な検査を選択する際の論理的根拠を理解する
様々な採材法と試料処理を考慮しそれらに影響を及ぼす因子を認識する

肝胆と腎臓の臨床病理について理解する
背景因子を決定する前に貧血が非再生性か再生性が鑑別するためのアプローチ法を構築する
止血に対する理解を変換し、異常がいつ、なぜ、どのように起こ

るか判断できるようにする
知識を用いて症例の検査データを解釈し、更なる精査の優先順番をつける
正常と異常な血液像、網状赤血球の認識、血小板と白血球の異常を発見する技術を熟練し、血液学のスキルを磨く
好中球減少症と顕著な白血球増多症の症例に対するアプローチを向上する

2-臨床病理と臨床検査 II + 実習 (半日)

細胞の採材、保存、処理の原則と実用性を理解する
顕微鏡スキルを上達させる
日常の細胞学的検査の原則と、それがどのように細胞学的診断に情報を提供するかを完璧に理解する

滲出液、吸引、洗浄試料に関して異なる細胞学的特徴への理解を変換する
細胞学でよく診断される疾患を熟知する

3-呼吸器疾患

詳細で完全な身体検査の重要性への理解を深める
呼吸器疾患の探査の中に呼吸困難に対するアルゴリズムを組み込む
呼吸器疾患の探査において診断の助けとなるツールを理解する：
X線、内視鏡、超音波、細胞学

上部および下部気道疾患、間質疾患、胸膜腔疾患の知識を強化する
呼吸器疾患の主要な治療と補助的な治療に関して熟知する
呼吸困難症例に対する急性期管理の最適なアプローチを学習する

4-救急治療と集中管理+実習 (半日)

重篤な症例の主な体組織の評価に対する完全で系統的なアプローチを熟知する
ミニマムデータベースとその解釈の理解を強化する
患者の輸液、電解質、輸血の必要性への評価を実践する
重症患者のモニタリングの原則と実用性を理解する

切迫した心肺停止をより素早く認識する
基礎的および高度な生命維持の選択方法を学習する
このモジュールは以下の実習内容も含む：
- 気管瘻チューブの設置 - 胸腔穿刺 - 胸腔チューブの設置と適切な管理

5-腫瘍内科 I

腫瘍の生物学とステージングの原則を理解する

ガン患者への一般的検査法を構築する

6-腫瘍内科 II

化学療法、放射線療法、腫瘍外科を理解する
犬と猫に多く認める腫瘍への治療管理を熟知する

一般的な腫瘍の救急疾患を認識し管理可能にする

7-皮膚学+実習 (半日)

皮膚疾患に関してプロブレム・ソルビング (問題解決的) アプローチを構築する
犬と猫の皮膚検査の手法に関する過程を説明できるようにする
皮膚疾患の臨床検査を挙げ、それらの手法がいつ用いられるかを理解する

脱毛症と掻痒の検査と治療において、合理的なプロブレム・ソルビング・アプローチを推奨できるようにする
細菌性、寄生虫性、真菌性皮膚疾患の一般的な所見を熟知する
全身疾患における一般的な皮膚兆候と病態を認識する

8-眼科 + 実習 (半日)

一般的な眼科検査の手法を完璧にする：
基本的な神経 - 眼科検査
検眼鏡：長距離直像鏡、近距離直像鏡、倒像鏡
角膜評価のための正しいフルオレセインの使い方
眼圧測定と隅角鏡検査

正しい眼科薬の理解：薬棚に何を揃えておくべきか？
一般的な眼科疾患に対する内科治療を熟知する
全身疾患による眼科症状を認識する
外科治療を必要とする一般的な眼科疾患を認識する

9-画像診断 + 読影

肝臓および肝胆道疾患の病態生理について考察 黄疸を呈する患者への診断アプローチについて解説 肝胆道疾患が疑われる患者の検査アプローチについて解説 膵外分泌疾患の病態病理に

ついで解説と考察 急性/慢性膵外分泌疾患の検査アプローチについて解説。肝胆膵疾患の治療選択肢についての検討

10-消化器病学 I

嘔下と嚥下障害の理解を構築する
以下の病態生理を熟知する：
吐出、急性と慢性嘔吐、下痢

消化器異常への診断的アプローチを強化する
消化器疾患診断のための内視鏡の原則と基本的な使用、適応を認識する



モジュール
20



実習
4回



期間
2年



場所
大阪府内



定員
24人

講義 9:00 ~ 18:00
実習 8:30 ~ 17:30
(休憩 1時間)



11-消化器病学Ⅱ

肝臓と肝胆疾患の病態生理の理解を高める
 黄疸症例に対する系統的な診断的アプローチを構築する
 肝胆疾患への探査的アプローチを完璧にする

膵外分泌疾患の病態生理を理解する
 急性・慢性膵外分泌疾患の探査的アプローチを認識する
 肝胆疾患と膵臓疾患の治療オプションを検討する

12- 心臓血管内科Ⅰ

心疾患を疑う症例の身体検査の原則と重要性への理解を広げる
 心電図の原則を熟知する
 一般的な不整脈を認識できるよう心電図の解釈に対するアプローチの理解を統合する
 心疾患症例に関する胸部 X 線画像の評価を向上する
 心電図の基本原則と心疾患の診断における役割を理解する

一般的な不整脈を認識できるよう心電図の解釈に対するアプローチの理解を統合する
 心疾患症例に関する胸部 X 線画像の評価を向上する
 心電図の基本原則と心疾患の診断における役割を理解する
 解説。犬の前立腺疾患を分類し、それらの病因、診断および臨床的管理を考察。

13- 心臓血管内科Ⅱ

心不全の病態生理を理解し認識する
 犬猫において最も多い先天性疾患を熟知しその管理を理解する
 最も多い後天性の弁膜疾患と心筋疾患を熟知しその管理の根拠を理解する

心膜疾患を熟知しその管理を理解する
 最も多い救急心疾患の管理を理解する

14- 感染症

犬猫の主要な感染症のリストをまとめる
 犬猫の一般的な感染症の診断と管理を認識する
 犬猫の外來感染症の臨床兆候を熟知する

ワクチン接種とワクチン接種制度の原則を理解する
 ペットの旅行制度における手順を学習する
 犬猫の届出が必要な疾患を列挙する

15- 神経内科

機能的神経解剖の原則を復習する
 病変の位置決めのための完全に系統的な神経学的検査を熟達する
 神経疾患を探査するためのさらなる診断的技法を列挙し理解する
 一般的な神経症状の探査と管理を考慮する
 犬猫の発作の病態を探査するための手順を理解する
 発作の緊急的・長期的管理のスキルを向上する

神経疾患を探査するためのさらなる診断的技法を列挙し理解する
 一般的な神経症状の探査と管理を考慮する
 犬猫の発作の病態を探査するための手順を理解する
 発作の緊急的・長期的管理のスキルを向上する
 一般的な免疫抑制療法について解説。

16- 内分泌学Ⅰ

内分泌の解剖学、生理学、病態生理学の背景にある原則を把握する
 犬猫における以下の内分泌疾患の臨床症状と診断的アプローチを熟知する：
 副腎皮質機能低下症および亢進症- 典型的および非典型的な症状
 甲状腺機能低下症および亢進症

原発性および続発性上皮小体機能亢進症
 副腎、甲状腺、上皮小体の内科管理と外科管理（適応の場合）の基本を理解する

17-内分泌学Ⅱ

インスリンノーマを含む膵内分泌疾患に関連する病態生理と臨床兆候を理解する
 犬猫の糖尿病と糖尿病性ケトアシドーシスの探査と管理を認識する
 糖尿病コントロール不良の原因と不安定な糖尿病症例へのアプローチを理解する

下垂体内分泌疾患の病態生理を理解する
 犬猫の下垂体内分泌疾患における臨床兆候、検査、管理を熟知する

18-免疫学

免疫介在性疾患の病態生理の理解を深めるため、免疫機能と免疫反応の基本を学習する
 小動物の免疫介在性疾患の診断的アプローチを構築する

免疫介在性疾患における治療の基本への理解を転換する
 免疫抑制療法の利用に関して検討する

19-泌尿器学Ⅰ

尿路疾患の探査に用いることのできる診断的技法を理解する
 急性・慢性腎不全、糸球体疾患、タンパク尿の病態生理を掘り下げる
 腎疾患の探査的アプローチを構築する

上記の疾患への治療的管理を向上する
 小動物の免疫介在性疾患の診断的アプローチを構築する
 免疫介在性疾患における治療の基本への理解を転換する
 免疫抑制療法の利用に関して検討する

20- 泌尿器学Ⅱ

犬猫の尿結晶と尿結石の形成要因を認識し理解する
 犬猫の下部尿路疾患管理の原則を理解する
 FLUTD（猫の下部尿路疾患）と尿道閉塞におけるしばしば複雑である管理を探索する

尿失禁の考えられる理由とその診断と管理を分析する
 犬の前立腺疾患を分類し、病態生理、診断、内科的管理を理解する

講師 :Susana Silva DVM CertSAM DipECVIM-CA MRCVS European Specialist in Veterinary Small Animal Medicine,
 Sarah Warren BVetMed MSc (Clin.Onc.) CertVD MRCVS, Nat Whitley BVMS PhD FRCVS CertVC DipACVIM DipECVIM,
 Lucy Davison MA VetMB PhD DSAM DipECVIM-CA MRCVS, Gilad Segev DVM, Dip. ECVIM-CA (Internal Medicine) 他

GPCert プログラムとは ISVPS (International School of Veterinary Postgraduate Studies) が認定している大学院過程修了のレベルを満たしていることを証明する認定証です。コースを修了した者には ISVPS の受験資格が得られます。GPCert は世界で唯一の標準化された認定証であり、イギリスが起源で今日では 19 カ国で提供され、大学院過程を修了した一定の基準として広く認定されています。*ESVPS は ISVPS に名称が変更されました。

※授業内容等のすべての掲載内容は、変更になる場合がございます。コースの最新情報につきましては [Improve International の WEB サイト](http://www.improveinternational.jp) をご覧ください。

Associate with



Improve International



ISVPS
 International School of Veterinary Postgraduate Studies

株式会社 WAHA

〒598-0015 大阪府泉佐野市高松南 1-2-43

☎ 0120-961-101 Fax.072-464-8953

✉ info.jp@improveinternational.com

www.improveinternational.jp

各種コースのお申込みは、WEBサイトからが便利です。スマートフォン、タブレットからは右記のQRコードよりアクセスいただけます。

